

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容が生徒の実態に即し、教科の目標を達成するのに適合しているため。
	地理歴史	基本的内容から応用的内容までバランスよく盛り込まれており、一般常識的な情報から受験に向けての内容まで幅広く学ぶことができる。生徒の興味関心も喚起しやすく、分量も適切であるため。
	公民	内容の程度・分量が適切であり、内容に応じた資料が教科書にわかりやすく掲載されており、生徒の実態に即しているため。
	数学	本文、表現等が正確であり、程度が生徒の実態に即しており、内容が系統的であり、分量も良い。また、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。
	理科	内容の構成、図・表のわかりやすさを重視し選定した。 過度に内容が深くなりすぎないものを選定した。
	保健体育	現在使用している教科書であり、より新しい内容を写真や図などを使って分かりやすく説明してあるため。
	芸術	表現、技法等わかりやすく生徒の実態に即している。
	外国語	内容の程度・分量が適切であり、適切な創意・工夫がなされ、生徒の実態に即しているため。
	家庭	図や解説がわかりやすい。内容・文字の大きさも適切である。
	情報	本文、図表、表現等がわかりやすく系統的に記述されており、分量も適当である。 内容は教科・科目の目標に適合し、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	本文、図表、表現等がわかりやすく系統的に記述されており、分量も適当である。 内容は教科・科目の目標に適合し、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。
	水産	
	家庭	図や解説がわかりやすく、生徒の実態に即している。内容・文字の大きさも適切である。
	看護	
	情報	
	福祉	